

九州朝日放送番組審議会議事概要（3月分）

| | |
|-------|---|
| 第591回 | 九州朝日放送番組審議会 議事概要 |
| 開催年月日 | 平成29年3月21日（火） 午後3時30分～5時00分 |
| 開催場所 | 九州朝日放送 本社役員会議室 |
| 出席者 | <p>委員総数 8名 出席委員数 8名 欠席委員 なし</p> <p>（出席委員） 宮田克彦委員長、古宮洋二副委員長、 三好京子委員、野田幸之輔委員、池田勝委員、 安恒万記委員、井手雅春委員、鶴利絵委員</p> <p>（放送事業者側出席者名） 代表取締役社長 和氣靖 専務取締役編成制作局長 半田俊彦 取締役ラジオ局長 清水透 報道局長 松延健次 報道局次長兼報道部長 臼井賢一郎 ディレクター 中山美紀 視聴者・広報室長兼番審事務局長 久芳康治 事務局 松田泰久</p> |
| 議 題 | <p><テレビ番組> 「Arita」は再び世界へ！～有田焼創業400年 奇跡のコラボ～ <放送日> 2017年2月25日(土)午後3時00分～4時00分放送</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 平成29年3・4月度ラジオ・テレビ番組編成状況 2. 平成29年2月視聴者・聴取者応答状況の報告 3. その他 |
| 議事の概要 | <p>◎委員の意見（概要）</p> <p>委員からは</p> <ul style="list-style-type: none"> ○有田焼を現代のアートとのコラボで復活させようとする取組を紹介した番組で、過去から現在まで400年にわたる有田焼の状況を様々な角度から取り上げた良質な番組だった。 ○銅板画家の小松美羽氏と有田焼の魅力がうまく伝わってくる番組だった。 ○BGMと山根基世さんのナレーションが落ち着いていて良かった。 ○今後、有田焼がいかに関わっていくか、後継者の育成、技術の伝承なども含め、新たな可能性を探っていかなければならない事が分かった。 <p style="text-align: right;">などの評価を頂きました。</p> <p>また、気になる点や望むこととしては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○今回の番組を制作するにあたって、十五代柿右衛門さんからの注文や条件があったのかを知りたい。 ○有田焼と小松美羽氏が今の関係を築き上げて行く発端や小松氏と有田焼に何故注目したのかを知りたい。 ○今回、番組で何を一番訴えたかったのか解りづらかった。 ○番組企画書には歴史探訪の旅番組と書かれていたが、旅番組ではないのでは。 <p style="text-align: right;">などの批評や提言を頂きました。</p> <p>これらに対して、担当者から、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○番組制作にあたって、有田焼関係者の取材を受け入れる姿勢に感心した。 ○もともと小松美羽氏は有田焼との繋がりがあり、ご本人がコラボしたいという意志から有田焼側に企画をなげかけた。 ○柿右衛門氏からの小松さんへの条件は「濁手」への絵付けは不可だった。 ○海外を含め3年間の取材をしドキュメンタリーとして制作した。 <p style="text-align: right;">などの説明をしました。</p> |